

2023(令和5)年度の予算では、歳入では自主財源が前年度と比較して約6億7千万円の増となっております。主な要因としては、市税が約5億3千万円の増、繰入金が約1億3千万円の増となっていることによります。

依存財源は前年度と比較して約6億5千万円の減となっております。主な要因としては、国庫支出金が約8億3千万円の減となっているところによります。市債においては、前年度より約4億7千万円減の約14億円で予算措置しております。市債の予算措置に関しては建設事業の予算措置に依存される為、宮古島市長期財政ビジョンにて年度間の平準化を図っております。また、総務省が定める健全化判断比率の基準を超えることがないように調整しております。

合併後これまで、普通交付税の算定替(合併後の一定期間、普通交付税が通常より多くもらえる計算方式)により決算で黒字となった分の一部については、算定替期間終了後の財源不足に対応する為、財政調整基金に積立してきました。2019(H31)年度当初予算よりその財政調整基金を取り崩して予算化しており、引き続き財政調整基金からの繰り入れ及び市債発行により財源を確保し予算編成を行っています。

令和5年度においても、市民サービスの向上に向け、予算化した各種事業の着実な実施、適切な予算執行に努めて参ります。

## 令和5年度新型コロナワクチン接種のお知らせ

令和5年度も、すべての方に自己負担なしでワクチン接種が行えます。

5月8日から実施される「令和5年春開始接種」の対象は、65歳以上の高齢者、64歳以下で基礎疾患を有する方、医療従事者、高齢者施設従事者等となっています。

当面の間、集団接種の計画はありませんので個別医療機関において、ワクチン接種を受けていただくようお願いします。

### 【今後のスケジュール】

65歳以上の方へは、5月上旬に接種券を郵送します。

64歳以下の方で基礎疾患等を理由に4回目接種券を申請した履歴のある方へは、申請履歴と接種履歴をもとに接種券を発送します。(転入者、4回目接種券申請履歴のない方は接種券発行申請が必要です)医療従事者および高齢者施設従事者等は勤務先を経由して接種券をお届けします。

上記以外の方は、令和5年9月に開始される「令和5年秋開始接種」の対象となりますので、9月上旬までに接種券をお送りします。

### 【お問い合わせ先】

宮古島市市民生活部健康増進課 予約センター ☎0980-79-7829

消費者相談 迷ったら相談しよう！ 契約は慎重に！

～「暗号資産(仮想通貨)で儲かる」と勧誘するマルチ商法に注意！！～



友人に誘われて参加したセミナー会場で、「仮想通貨で儲かる」「今なら20万円を預ければ、毎月7,000円の儲けがある」さらに「人を紹介すれば紹介料が入る」などの説明があり、既に入会していた友人にも「貯金の利子より高いからすぐに元を取れるから入会して」と勧められ、高額な入会金を払って契約した。その後、冷静に考えると本当に儲かるのか不安だ。

A

仮想通貨や投資話で儲かると謳って組織への入会を誘うマルチ商法の相談では、「損した」「全く儲からなかった」という苦情があります。最近の事例では、「オンラインサロン」を人に紹介すれば報酬がもらえると誘って、高額な入会金を払わせる取引での被害もありました。連鎖販売取引、いわゆるマルチ商法は特定商取引法で規制されており、概要書面や契約書の交付義務があります。20日間のクーリング・オフ(無条件解約)や中途解約に関する記載を確認しましょう。契約は慎重に！相談は早めに！



沖縄県消費生活センター宮古分室 ☎72-0199(9-12時/13-16時) ※平日のみ

宮古島市地域振興課 消費者相談窓口 0980-73-2695  
土・日・祝祭日は消費者ホットライン 188

## 2023(R5)年度一般会計当初予算を家計(年間必要生活費500万)に例えると・・・



2023(R5)年度一般会計当初予算  
(宮古島市)



1年分の家計  
(年間必要生活費500万)



### 収入

市税	63億3016万2千円
負担金・使用料など	13億3737万5千円
地方交付税・地方譲与税・各種交付金	140億4171万2千円
国・県支出金	122億6501万1千円
市債	14億460万円
繰入金	23億1114万円
合計	376億9000万円

### 収入

給料	約84万円
臨時(パート)収入	約18万円
仕送り	約186万円
特別仕送り	約163万円
ローン借入	約18万円
預貯金取り崩し	約31万円
合計	500万円

### 支出

人件費	65億2787万9千円
物件費など	80億8133万4千円
投資的経費・維持補修費	44億3773万6千円
扶助費	88億7126万9千円
補助費等	28億1319万8千円
公債費	44億1971万4千円
積立金・貸付金など	2059万5千円
繰出金	25億1827万5千円
合計	376億9000万円

### 支出

食費	約87万円
光熱水費・通信費	約107万円
自宅増改築・修繕	約59万円
医療費、保険料、介護サービス、利用料等	約118万円
子どもへのこづかい、教育費、自治会費など	約37万円
ローンの返済	約59万円
預貯金への積立	ほぼゼロ
子どもへの仕送り	約33万円
合計	500万円

### 資産の状況

令和4年度末(見込)	
基金残高(見込)	131億5848万6千円
市債残高(見込)	389億4737万9千円

### 資産の状況

家計に例えた場合	
預貯金残高	約175万円
ローン残高	約517万円

市債は、世代間公平性(道路や学校等、長い間使用される施設の建設費用にあてられた市債は、耐用年数等を参考に長い間(約20年前後)分割して返済することにより使用する世代で公平に負担していただく)の観点と、市債の種類によっては元利償還金(返済金)の一部が地方交付税として国から交付(手当)されている点から、通常のローンとは違う点にご留意ください。宮古島市はほとんどが地方交付税が交付される市債による借入を行っています。

1年間に必要な生活費500万円に対し、自ら稼いだ給料は約84万円、パート収入約18万円と少額で、ほとんどの支出が親からの仕送り等約349万円(約186万円+約163万円)により賅われている状態にあります。